

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月3日
研究・研修課題名	日本糖尿病療養指導士資格認定更新・資格取得、島根県糖尿病療養指導士資格更新・資格取得のための研修会、学会参加
研究・研修組織名(所属)	糖尿病ケアサポート委員会
研究・研修責任者名(所属)	総括責任者： 山内美香(内分泌代謝内科) 実施責任者： 守田美和(内分泌代謝内科)
研究・研修実施者名(所属)	(栄養治療室) 端本洋子、矢田里沙子、平井順子、金山友紀 (看護部) 石川万里子、田中沙枝子、佐仲みどり、板倉弘美、藤井奈々子、数森和栄、黒崎史子、井垣友輔、林千鶴、須山由希 (検査部) 竹内志津枝、石原智子 (薬剤部) 後藤貴樹、曾田重人、望月優里、荒木ちなみ (リハビリテーション部) 伊藤郁子、野口瑛一

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有() <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

日本糖尿病療養指導士の資格維持には、糖尿病患者の療養指導業務従事だけではなく、5年間で糖尿病療養指導研修(学会参加)20単位、自己の医療職種研修(学会参加)20単位の取得と、「日本糖尿病療養指導士認定機構主催の認定更新のための講習会」参加が義務づけられている。

また、島根県糖尿病療養指導士の資格維持には糖尿病に関する研修会・学会参加20単位取得が義務付けられている。

上記の講習会・学会に参加する事により、資格維持ならびに糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識習得、さらに高度な専門的知識を取得する。それにより院内の糖尿病治療の質を向上する。

②方法

本教育研究助成により、日本糖尿病療養指導士資格認定更新・資格取得と島根県糖尿病療養指導士資格更新・資格取得のための研修会、学会に参加する。

③成果

本年は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、認定試験は中止になったが、来年度受験し合格を目指す。既存の資格取得者18名も資格更新のための単位取得が順調に出来ており、全員継続出来る予定である。

●資格取得のための研修および試験

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	井垣友輔 (A病棟4階)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病療養指導士 受験者用講習 eラーニング
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格取得のため

<成果>

資格取得に向けた学習を通し、部署での指導における知識を深め、日々の業務に臨めるようになった。

●資格更新のための研修参加

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	伊藤郁子 (リハビリテーション部)
学会名(会期・場所、認定名等)	2019年9月14日 沖縄コンベンションセンター 第6回 日本糖尿病理学療法士学会
演題名・認証交付先等	発表演題：運動器症候群を有する糖尿病患者の運動継続に関する要因の検討
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

テーマは「未来 明日の臨床が変わる一步を！」であり、まさに臨床に直結するような内容の講演が多く、特に第一線で活躍している我々と同じ理学療法士の講演が印象的だった。当日はポスター発表もあったが充実した一日であり、現地スタッフに親切にもてなしていただき、良い経験になった。

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	端本洋子 (栄養治療室)
学会名(会期・場所、認定名等)	第23回日本病態栄養学会年次学術集会 (国立京都国際会館) 令和2年1月24日(金)～26日(日)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のための単位取得のため

<成果>

日本病態栄養学会年次学術集会では、「栄養をつなぐ」というテーマにおいて、シームレスに栄養管理、栄養指導をつなげる体制構築をすすめるための大切なポイントを学ぶことができた。特に講演の中でも「実践！！カーボカウント」については、栄養指導の実際を基本から応用まで実践的に学ぶことができ、日々の業務に直結した内容であった。カーボカウント法を用いた栄養指導を当院でも行っているが、まずは食品交換表を理解した上で、すすめていくことが重要であることを再確認できた。

今回の学会参加で習得したことを今後の療養指導につなげていきたい。

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	矢田里沙子(栄養治療室)
学会名(会期・場所、認定名等)	第23回日本病態栄養学会年次学術集会(国立京都国際会館) 令和2年1月24日(金)～26日(日)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<成果>

今回食事療法のツールの一つである「カーボカウント法」についての講演を聴講し、具体的な指導方法について学んだ。講演では糖質を多く含む食品(主に主食、芋類、果物、乳製品)の糖質量を計算し、その他は副食の糖質量を一律で考え、砂糖、揚げ物、ルーが使ってあるかで糖質量を計上していくことで、おおよその糖質量を計算するものであり、初めてカーボカウントをする患者さんにも受け入れやすい内容であると感じた。しかしながらカーボカウントを行う場合でも、各栄養素を偏りなく食べることが体重管理や健康を保つ上で基本となるため、まずは食品交換表を理解することが大切であることを再認識した。

今後当院でもカーボカウント法を用いる糖尿病の栄養指導件数が増えることも予想されるため、患者さんにわかりやすく、効果的な指導ができるよう、今回学んだことを活かしていきたい。

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	曾田重人(薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病療養指導士認定機構 第17回更新者用講習会(eラーニング)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

eラーニングの受講を行い、血糖測定、運動療法、食事療法、薬物療法、シックデイ時の対応、患者教育などについて学ぶだけでなく、症例からどのように患者に関わっていくべきかを考える良い機会となった。糖尿病患者とのかかわりは非常に長期的なものになる場合もあるため、就業、結婚、出産、高齢などのライフステージに合わせた指導を行い、患者がより良い生活を送るためのサポートをする必要がある。また患者の精神面に対するケアも非常に重要となることを学ぶことが出来た。現在、薬剤師として外来患者を対象に糖尿病透析予防指導を行っている。患者からは健康食品やインスリンの手技に関する質問が多い。単に薬剤の指導をするだけでなく、患者の環境の変化に対応した指導が行えるよう、今回のeラーニングで得られた知識を活かしたい。

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	望月優里(薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病療養指導士認定機構 第17回更新者用講習会(eラーニング)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

e-ラーニングで受講し、単位を取得した。4つのケーススタディを通して、療養指導士に必要な知識、考え方等を習得した。本講習を通して、薬剤師の専門分野以外（食事、運動など）の知識を再確認することができた。また、糖尿病療養指導を行ううえで、できることから始め改善が必要な点については修正を加えるなど、患者さん自身が継続して治療を行えるような指導を今後も心がけていきたい。